

六月例会 御案内

〔令和元年・通算第六九七回〕

公益財団法人 協和協会

○ 御案内

六月二十一日(金)十一時半入館可、正午～午後二時半 衆議院第一議員会館地下一階第一会議室

講題 安倍政権の浮沈をかける七月決戦！

講師 高橋利行先生(政治評論家、読売新聞元解説部長・論説委員・編集局次長・新聞監査委員長)
さて、いよいよ選挙です。世間では、参議員半数改選の参議院通常選挙で行くか、衆参同日選挙となるかいろいろ取り沙汰されています。しかし、これは、安倍総理の専権事項ですから、その胸三寸の問題。六月二十八日から、各国首脳が大阪に集まりG20が開かれ、華やかな首脳外交の展開が予想されます。また、米中貿易戦争の行方はどうなるのか、世界の経済動向はどうか。憲法改正は選挙のテーマとなるのか、秋の消費税2%増税は選挙に影響するのかわつ山の問題があります。そこで、今回は、永年の御経歴豊かな政治評論家として知られる高橋利行先生に、分析・御解説をいただきます。貴重な御講話です。奮っての御参加、お待ち申し上げます。(清原記)

□ 当日会費(昼食付き) 会員は三千元、非会員五千元。

公益財団法人 協和協会 <http://www.kyowakyokai.or.jp>

六月二十一日(金)の月例会△△に

出席 欠席 (いずれかに○印を) 電話 03-3581-1192
FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様のFAX メール 当日連絡先 080-8836-6203 重田
080-9292-2620 高津
(メール不可・通話のみ)

六月十九日(水)までに出欠の御連絡賜りたく。

○ 御報告

当協会では、今年に入り、習近平の中国、金正恩の北朝鮮、文在寅の韓国と、御専門家の解説を承りましたが、五月下旬、トランプ大統領の訪日もあり、以前にワシントンDCのCSIS上級研究員を務められアメリカ事情に詳しく、現在は笹川平和財団上級研究員の渡部恒雄先生に、「アメリカ・トランプ大統領の行方！」と題し、五月三十日、参議院議員会館会議室にて御講話いただいた。渡部恒雄先生の御講話要旨を記すと、まず自己紹介として、父は政治家の渡部恒三(衆議院議員、通産大臣、自治大臣、厚生大臣、衆議院副議長)だが、私は当初、歯科医師になった、なぜか、それは、父は金がなかった。母が歯科医で父を支えていたので、私もとりあえず歯科医になった。しかし、社会科学に対する意欲も捨てがたく、アメリカに留学して勉強し直し、その大学院で政治学修士を取り、ワシントンDCにあるCSIS(戦略国際問題研究所)に入り、上級研究員になった。今は笹川平和財団上級研究員を務めている。

さて、トランプ大統領だが、過去に一度も公職の経験はなく、テレビショーでエンターテイナーとして人気を博したのが基本にある。トランプ自身、大統領選に勝つとは思っていなかった。政権移行チームの準備もしていなかった。したがって、大統領になったもののその人事は混乱した。ジョン・ケリーが首席補佐官、ロブ・ポーターが秘書官になって落ちつき、またこの時期は伝統的なリアリズムに基づく国際主義者ジム・マティス国防長官の方針に従い、「アメリカの力による平和」同盟国は我々を強くする」などと言っていた。ところが、二〇一八年一月、ロブ・ポーター秘書官が二人の前妻に家庭内暴力を振っていたことが発覚して秘書官を辞任してからは、流れが変わった。もはや誰も、トランプをコントロール出来なくなり、「リアリズムにもとづく国際主義」の話も聞かなくなり、いまはトランプ大統領の唯我独尊状態にある等々、沢山の最近のアメリカ情報で、一同、大層勉強になった。(清原記)

▽「公益財団法人 協和協会」とは

昭和四十九年、岸信介元総理によって創立された財団。活動趣旨は、「政党・派閥・利害・打算の次元を超えて、真に国家的課題を研究調査し、特に重要課題は、政府宛要請書を作って、時の政府へ提出することにある。昭和五十四年から本格活動に入り、月例講話会の他に八つの部会と、五、六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府に提出している。第二代会長は福田赳夫元総理、第三代会長は櫻内義雄元衆議院議長、第四代会長は塩川正十郎元財務大臣、第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員、現在、第六代は代表理事兼会長代行として、岸信夫衆議院議員・安全保障委員長、元外務副大臣が就任している。

▽事務局電話(03)3581・1192 代表理事兼専務理事・清原淳平、総務 重田、高津